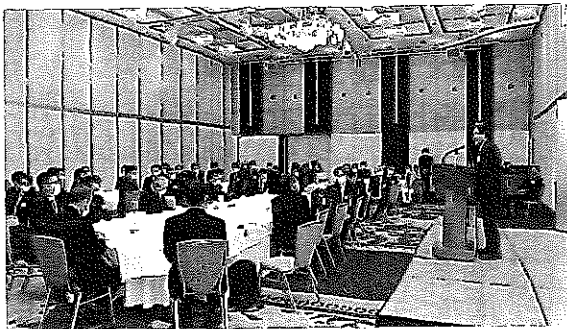


熊本県電設業協会

# 飛躍し繁栄の一年へ

## 3年ぶりに新年賀詞交歓会



の上規制を取り上げ、

「遵守しない場合には罰則が科せられる。週休2日を前提とした適切な工期の設定と施工時期の平準化を切にお願しいした」と発注者に訴えた。

若年労働者の確保にも触れ「半導体大手企業などが物価高に負けない賃上げに対応しており、我々業界においては優秀な若者を獲得するのが更に困難になる」と危惧。その上で「2月に発表される公共工事設計労務単価で電工の単価が大きく改

定されることを期待する」と述べた。  
来賓からは、熊本県営繕課の折田義浩課長と熊本市設備課の河田誠二課長が祝辞。折田課長は「防災やゼロカーボンを見据えた新たな取り組みを進めており、今後、様々な建築プロジェクトの推進や安全安心な県有施設の整備に向けて協会の力をお借りする機会がますます増える」と蒲島郁夫知事のメッセージを伝えた。



25日は、賀詞交歓会に先立ち経営者セミナーを

### セミナーを開催

開き、福岡大学経済学部  
の木下敏之教授が少子化  
の日本経済について講  
演した。木下教授は、1  
995年から2015年  
までの20年間における世  
界各国の名目GDP成長  
率を示し、「日本は断ト  
ツの最下位で唯一のマイ  
ナス成長。人口減少も理  
由の一つだが、国家の衰  
退を抑えるには政府の積  
極財政が必要だ」と訴え  
た。

熊本県電設業協会(岩崎裕会長)の2023年新年賀詞交歓会が25日、熊本ホテルキャッスルで3年ぶりに開催された。年頭の挨拶に立った岩崎会長は、干支の卯年に因み「会員が飛躍・向上し、繁栄と活躍の一年となるよう願っている」と声を上げた。  
県、熊本市、関連団体からの来賓をはじめ、会員など約90人が出席した。  
岩崎会長は、24年度から適用される時間外労働